

〔神経内科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

当科では、頭痛、めまい、意識障害、認知症、けいれん、嚥下困難、四肢のしびれ、筋力低下などの症状を呈する患者を扱っており、血管障害、変性疾患、代謝性疾患、脱髄性疾患、筋疾患、末梢神経疾患、遺伝性疾患、脳炎・髄膜炎など幅広い疾患の診療・治療を行います。病床数は22床で、スタッフの多くは専門医資格を有し、マンツーマンで研修・指導をしている。検査として、神経学的検査以外に、CTやMRI、SPECT、頸動脈エコー、血管撮影などの画像診断はもちろんのこと、神経伝導速度、筋電図、誘発電位や脳波、磁気刺激などの電気生理学的検査、髄液検査や筋生検、神経生検の実施や解析も行っている。また、研究会や学会に経験症例を積極的に発表し、脳卒中の急性期から末梢神経の疾患まで非常にバラエティにとんだ症例を個別指導で経験することができる。

【内容】

① 一般目標(G I O)

神経系疾患の患者のプライマリ・ケアが適切に行えるように、代表的疾患である脳血管障害、パーキンソン病などを通じて、神経疾患の特殊性を理解し、自ら考えて診断し、治療する能力を身につける。

② 行動目標(S B O s)

1. 患者を全人的に理解し、患者やその家族と良好なコミュニケーションが取れる。
2. 患者のプライバシーや医療安全に配慮できる。
3. 適切な問診・神経学的診察ができ、診療録に記載できる。
4. 臨床検査結果を正しく解釈し、評価できる。
5. 基本的治療法の適応を決定し、適切に実施できる。
6. 救急患者の初期診療ができる。
7. 入院診療計画書を作成し、説明できる。
8. 入院患者の処方・指示が適切に出せる。
9. 病状説明や退院時指導が適切にできる。
10. 診療録、退院時サマリーを遅滞なく記載できる。
11. 診断書・紹介状等を作成し、管理できる。
12. カンファレンス等で症例のプレゼンテーションが適切にできる。
13. チーム医療を理解し、実践できる。

③ 方略(L S)

L S 1 : On the job training(O J T)、受け持ち患者数：5～6名

上級医の指導の下、主治医とともに患者のケアを行い、それぞれの疾患についての知識を深め、検査手技・治療法を習得する。

受け持ち患者の神経学的所見の変化を把握する。

回診に参加する。

副直として、当直業務に参加する。

L S 2 : カンファレンス

研修医教育に関する行事に参加する。

④ 教育に関する行事

内科全体

第2、4週 月 17:30～ 内科合同カンファレンス、
症例報告（病理検討会を含む）と教員によるミニレビュー

神経内科単独

月 14:30～ 症例検討会（放射線科との合同もあり）

16:00～ 教授回診

火 17:00～ 画像検討会もしくはレクチャー

木 15:00～ 教授回診

17:00～ レクチャーもしくは症例検討会など

脳神経外科等との合同カンファレンス（通称“ニューロカンファ”）

第3もしくは4木 18:30～

脳卒中カンファレンス

月・金 8:00～ 脳外科、救命救急、放射線科と合同での脳卒中患者カンファレンス

⑤ 研修評価

1. 自己評価

研修到達手帳に症例や経験した症状を記載する。

ローテーション終了後1ヶ月以内にEPOCでの入力を行う。

2. 指導医による評価

EPOCでの入力を行う。

3. 看護師による評価

EPOCでの入力を行う。

指導医等

主任教授：芳川 浩男

教授：武田 正中

准教授：木村 卓

講師：笠間 周平

講師：團野 大介

講師：渡邊 将平

助教：山本 麻未

研修実施責任者

教授：武田 正中

神経内科 週間予定表

	午 前	午 後	症例検討会	備 考
月	8:00～ 脳卒中カンファレンス 9:00～ 外来業務	14:30～ 神経内科カンファレンス 及び教授回診	17:30～ 内科合同カンファレンス (第2、4週)	
火	9:00～ 外来業務		17:00～ 画像検討会もしくはレク チャー	
水	9:00～ 外来業務			
木	9:00～ 外来業務	15:00～ 教授回診	17:00～ レクチャーもしくは症 例検討会 18:30～ 脳神経外科との合同カン ファレンス(第3もしくは 4木)	
金	8:00～ 脳卒中カンファレンス 9:00～ 外来業務			
土	9:00～ 外来業務			